

# DXが地域建設業の未来を拓く

日時 2024年6月21日(金) 15:00~18:00

中継 イイノホール Room Aから、ネット中継

(建設トップランナー倶楽部ホームページよりライブ配信します)

## 開催趣旨

デジタル技術を活用したインフラ分野のDX(デジタル・トランスフォーメーション)は、地域建設業が抱える生産性向上や担い手対策、技術継承、働き方改革などの課題解決にどう役立つのか。地に足がついた中小建設業のDX戦略をあらためて考える。

## 主催

建設トップランナー倶楽部

## 後援

日本青年会議所建設部会  
全国建設業協会  
建設業振興基金  
建築技術支援協会  
日本プロジェクト産業協議会  
建設コンサルタンツ協会  
地方建設専門紙の会

参加費 無料

## 視聴申込方法

下記のフォームからお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S66411641/>



建設トップ倶楽部ホームページからも  
お申込みいただけます。

<https://kentop.org/>

## プログラム

【15時-15時20分】

司会 建設トップランナー倶楽部幹事 菅野浩太郎 北海道  
建設トップランナー倶楽部幹事 柄谷裕子 兵庫県

趣旨説明 建設トップランナー倶楽部代表幹事 米田雅子  
来賓挨拶 国土交通大臣 (未定)  
農林水産大臣 (未定)  
元国土交通大臣 太田昭宏

【15時21分-16時24分】

第1部 農業・林業におけるICT施工・デジタル化

アドバイザー 農林水産省 農村振興局整備部長 緒方和之  
林野庁 森林整備部長 長崎屋圭太  
建設業技術者センター理事長 谷口博昭

DXで新たな価値創造を!「農業×土木×教育」  
砂子組 土木部・ICT施工推進室 高島優花 北海道

農商工による6次産業化のDX  
愛亀 道路管路営業部 西山 諒 愛媛県  
林道工事のICT活用で生産性向上を! 平賀建設社長 平賀健太 山梨県  
(発表 各15分/アドバイザーコメント 各5分)

【16時25分-16時48分】

「特別発表」能登半島地震における地域建設業の取り組み(仮)

発表者 ○○○○○○○○

(発表20分、アドバイザーコメント3分)

【16時49分-17時52分】

第2部 BIM・CIMの対応/インフラ分野のDX戦略

アドバイザー 国土交通省 大臣官房技術審議官 林 正道  
国土交通省 官房審議官(不動産・建設経済局)

楠田幹人  
皆川芳嗣

地方ゼネコンのBIM戦略 美保テクノス社長 野津健市 鳥取県  
BIM戦略部課長 竹内智恵

地域建設業に求められるDXとは? 金杉建設社長 吉川祐介 埼玉県  
少子高齢化に対応した無人化施工の挑戦!

中和コンストラクション社長 大浦晃平 奈良県  
(発表 各15分/アドバイザーコメント 各5分)

【17時52分】

総括コメント 国土学総合研究所長 大石久和 (5分)  
閉会の言葉 フォーラム実行委員長 齊藤和之 北海道

## 【問い合わせ先】

建設トップランナー倶楽部 事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘 1-5-4 ワイヒルズ 2階 米田事務所内 中川寛子, 大里茂登子

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463 Mail: [info@kentop.org](mailto:info@kentop.org)

ホームページ: <https://www.kentop.org/>

# 令和6年 第18回建設トップランナーフォーラム

## DXが地域建設業の未来を拓く 発表概要

### 第1部 農業・林業におけるICT施工・デジタル化 【15時21分-16時24分】



#### DXで新たな価値創造を!「農業×土木×教育」

砂子組 土木部・ICT施工推進室 高島優花 北海道

社会情勢の変化に伴い、営農フィールドにおける大区画化・集約化が進み効率的な経営を行うためスマート農業の普及が進んでいます。建設業は農業インフラの整備・拡張により農業進歩の一助を担っており、一連のサイクルを農業高校との教育連携を通じて次世代の人材を育成し持続可能な未来を築きます。



#### 農商工による6次産業化のDX

愛亀 道路管路営業部 西山 諒 愛媛県

技能職員の閑散期における雇用流動化を発端として2000年に設立した農業法人あぐり。農業へ建設業の管理手法を用いると共に、当社グループの強みを生かした堆肥製造から農産物の営業販売までの循環型農業を目指しています。大学・研究機関と連携した農業分野のDX化による栽培管理を紹介します。



#### 林道工事のICT活用で生産性向上を!

平賀建設社長 平賀健太 山梨県

健全な実行予算とは、そして利益とは、『儲かる』とは、生産性向上とは何なのか?を、iconを始めてから疑問を持ち始め、icon導入前は林道工事では利益が出せなかった平賀建設です。今、さらなる生産性向上を図るために『Try and Error』を繰り返してきた、その失敗だらけの私たちが考える未来の4Dをいまここにご紹介します。

### 特別発表 【16時25分-16時48分】

能登半島地震における地域建設業の取り組み(仮)

発表者 調整中

### 第2部 BIM・CIMの対応／インフラ分野のDX戦略 【16時49分-17時52分】



#### 地方ゼネコンのBIM戦略

美保テクノス社長 野津健市／BIM戦略部課長 竹内智恵 鳥取県

建設業における人手不足、担い手不足の解決のため、建設DXの必要性が盛んに提唱されています。美保テクノスは鳥取県の総合建設会社ですが、2000年代半ばからBIM (Building Information Modeling) にこれまで試行錯誤を繰り返しながら取り組んで来ました。BIMにおける当社のこれまでの取り組みと成果、可能性について、ご紹介させていただきます。



#### 地域建設業に求められるDXとは?

金杉建設社長 吉川祐介 埼玉県

建設業界がデジタル技術のDX活用によって目まぐるしく変化しています。3次元測量や3次元データを活用した現場管理を内製化することによって、建設業の生産性は格段に向上しました。さらなる生産性向上を目指すために必要なものは何かを考えます。



#### 少子高齢化に対応した無人化施工の挑戦!

中和コンストラクション社長 大浦晃平 奈良県

当社は災害復旧現場で特定小電力やローカルWiFi等を駆使して無人化施工を行ってきました。無人化施工技術を災害復旧現場だけでなく、少子高齢化・担い手不足などの課題を抱える建設現場へ普及させるため、ORAM(株)と共にSBIR制度に参画し、技術開発だけでなく事業・仕組みづくりの面での挑戦も行っていきます。